

新着図書案内

2016年5月発行



『小さな本の大きな世界』

大の本好き詩人・長田弘が、「エリザベスは本の虫」「ここにはないもの 新哲学対話」など「お気に入りの本」全145冊を、絵本画家・酒井駒子の絵とともに紹介する。『東京新聞』『中日新聞』ほか連載に加筆し書籍化。

長田 弘 // 著 酒井 駒子 // 絵 クレヨンハウス



『しかえししないよ』

こんな時代だからこそ、伝えたい。いじめや戦争で揺れる子どもの心と生老病死を表現した医師・日野原重明の詩に、いわさきちひろの珠玉の作品をつけた美しい詩画集。

日野原 重明 // 詩 いわさきちひろ // 絵 朝日新聞出版



『世界の不思議な図書館』

ラクダ、ボート、電話ボックス、駅、ホテル、個人宅、庭、公園、海辺…。本さえあれば、そこは図書館になる! バリエーションあふれる世界の個性派ライブラリーを写真で紹介する。

アレックス ジョンソン // 著 創元社



『数と音楽 美しさの源への旅』

リズム、音階、ピッチ…音楽の中には“数”がたくさん!? 私たちの感じる“美しさ”の源はどこにある? 古代から哲学者や芸術家たちを魅了してきた数と音のふしぎな関係を解き明かす。

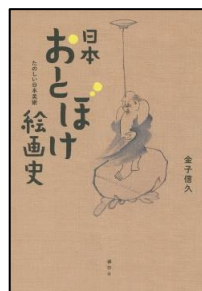
坂口 博樹 // 著 桜井 進 // 数学監修 大月書店



『エドワード・ゴッリーの優雅な秘密』

不思議な世界観と、モノクロームの緻密な線描で、世界中に熱狂的なファンをもつエドワード・ゴッリー。代表作33作品の挿絵や表紙の原画、イギリスのナンセンス詩や文学の挿絵などを収録する。

エドワード ゴッリー // 画 河出書房新社



『日本おとぼけ絵画史 楽しい日本美術』

見る者を煙に巻くような不可解な禅画、俗なものや卑近なおかしみを取り込む俳画、一般大衆のわかりやすい好みからほど遠い南画…。日本人の心を潤してきた「とぼけている」としか言いようのない絵画の歴史を紹介する。

金子 信久 // 著 講談社



『『暮らしの手帖』をつくった男』

NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」主人公・常子の「魂のパートナー」、花山伊佐次のモデルとして知られる花森安治の人生を、反骨のジャーナリスト・船瀬俊介が描いた評伝。秘蔵インタビューから花森の素顔に迫る。

船瀬 俊介 // 著 イースト・プレス



『世界の愛らしい子ども民族衣装』

世界の子どもたちがどんな服を着ているのか、知っていますか? 伝統的な衣装から現代風、お祭りの衣装まで、世界88カ国の綺麗でかわいい民族衣装131点を、詳細な解説文とともにカラー写真で紹介! します。

国際服飾学会 // 監修 エクスナレッジ

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。



『東武野田線・新京成電鉄 街と駅の1世紀』

環状路線の一部のようなラインを地図上に描く東武野田線と新京成電鉄。大宮から船橋までの東武野田線と、松戸から京成津田沼までの新京成電鉄の、各駅と街、鉄道の歩みと現在の姿を写真とともに紹介する。

杉崎 行恭 // 著 アルファベータブックス



『山の名作読み歩き 読んで味わう山の楽しみ』



数多くの山の書籍を世に送り出してきた編集者が、山にまつわる名作53編を厳選。江戸時代の山岳紀行から現代の名エッセーや紀行、詩まで、山の文芸の流れを理解し、その真髓を味わうための道しるべとなるアンソロジー。

大森 久雄 // 編 山と溪谷社



『図書館「超」活用術』

集中力、発想力、思考力、教養力を得るための全てが図書館にあった! 司書資格ももつ著者が、図書館の活用法や、あまり知られていない図書館の仕組みやサービス、使える図書館を探すための7つのチェックポイントを紹介する。

奥野 宣之 // 著 朝日新聞出版

『くらべてわかる 世界の美しい美術と建築』

美術と建築を比較しながら、両方の入り口から相互に読み解く本。古代から現代にいたる、世界各地の知っておきたい絵画、彫刻、神殿、教会、宮殿、超高層建築など224作品を掲載。名作の鑑賞法と名建築のみかたがわかる。

五十嵐 太郎 // 編著 エクスナレッジ

『生きてごらん、大丈夫 子どもと本と、出会いをつむぐ』

子どもたちに物語の力を。作品を通して生きる喜びを伝え続けてきた作家たちの言葉と、本を子どもたちに届ける活動やそれを担う人々の思いを紹介する。作家おすすめの本ガイドも掲載。

佐々波 幸子 // 著 かもがわ出版

『植民地を読む 「賈」日本人たちの肖像』

国民を担保するのは「国語」か旅券か血液か。これまで顧みられることがほとんどなかった、多くは無名の在台内地人の文学表現を通じて、帝国日本の「集団的な空想」の一端を明らかにする。



星名 宏修 // 著 法政大学出版局

『新聞投稿に見る百年前の沖縄』

戦前の新聞『琉球新報』第三面には、読者たちの投稿が掲載されていた。恋愛や友情、不満、悲哀、身の上相談など、多様で自由奔放なその内容をジャンル別に紹介し、百年前の沖縄における人々の声と世相を浮かび上がらせる。

上里 隆史 // 編著 原書房

『明治・大正・昭和 絵葉書地図コレクション』

20世紀初頭から1930年代の出来事、国土開発・産業などの近代化、名勝観光や博覧会見物に沸く都市…。さまざまな主題で描かれた絵葉書の地図を読み解き、近代日本の記憶を甦らせる。『地図中心』連載を書籍化。

鈴木 純子 // 著 明石書店



『ときめく化石図鑑』

化石の楽しさを伝える、カジュアルな化石図鑑。化石とひとびとの歩みをひも解いたうえで、化石を23のカテゴリーに分けて、一つひとつ写真をあげながら解説。化石と出会う方法、化石の基本的な知識も紹介します。

土屋 香 // 文 土屋 健 // 監修 山と溪谷社

『ありえない生きもの 生命の概念を くつがえす生物は存在するか?』

生命とは何かを論じる上で、生物はどこまで極端になりうるか、「ふつうの生物」とはどれだけ異質な生物がありうるか。さまざまな分野を逍遙し、最新科学を駆使して生物の多様性と可能性を探る。

デイヴィッド トゥーミー // 著 白揚社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

